

## 注意事項 (Notice)

すべての課題について、添付のパッケージをコンテストシステムからダウンロードすることができます。

すべての課題について:

- 添付のパッケージには採点プログラムのサンプル、実行プログラムのサンプル、入出力例、コンパイルスクリプトが含まれる。
- あなたは各課題について 50 回まで提出することができる。また、それぞれの提出において、ちょうど 1 つのファイルを提出しなければならない。
- あなたが提出しなければならないファイルの名前は、問題文のヘッダに書かれている。提出するプログラムにおいては、実装のサンプルで指定された型を用いて、問題文中に指示された関数を実装すること。
- 他の関数を実装するのは自由である。
- 採点プログラムのサンプルを試すときは、入力の問題文中に示されたフォーマットと制約を満たしていなければならない。そうでない場合、予期しない挙動をするかもしれない。
- 採点プログラムのサンプルの入力では、特別な指示がない限り、各列の連続する 2 つのトークンは 1 つの半角スペースによって区切る。
- 手元のコンピュータであなたの書いたプログラムを試すとき、添付のパッケージに含まれるスクリプトを用いることを推奨する。採点システムではコンパイルオプション `-std=gnu++17` を用いてコンパイルを行う。もし手元のコンピュータがこのオプションをサポートしていない場合は、このオプションを省略したり、他のオプションに取り替えても構わない。

## 約束事

問題文では `void`, `string`, `int`, `int64`, `int[]` (配列), `string[][]` (2次元配列) といった一般的な形式で型を表す。

C++ においては、採点プログラムでは以下のように対応する型や実装が用いられる。

<code>void</code>	<code>string</code>	<code>int</code>	<code>int64</code>	<code>int[]</code>	<code>string[][]</code>	配列 a の長さ
<code>void</code>	<code>std::string</code>	<code>int</code>	<code>long long</code>	<code>std::vector&lt;int&gt;</code>	<code>std::vector&lt;std::vector&lt;std::string&gt;&gt;</code>	<code>a.size()</code>

## 制約

すべての課題について、課題の制約はコンテストシステムの "Overview" ページで確認できる。